

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 協同精版印刷株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒700-0941 岡山市北区青江一丁目24-19	
本票作成	部署名：総務経理部				
主たる業種	分類コード	15	業種名：印刷・同関連業		
事業の概要	製版・印刷・その他関連事業				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	邑久工場		瀬戸内市邑久町豆田955	
	②	本社・本社工場		岡山市北区青江一丁目24-19	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 <input checked="" type="checkbox"/> 工場等の数 3 所 <input checked="" type="checkbox"/> 車両台数 (②該当の場合) 台				

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 21 年度)	(平成 25 )年度排出量	目標年度(平成 26 年度)
	7,222 t CO <sub>2</sub>	7,311 t CO <sub>2</sub>	6,499 t CO <sub>2</sub>
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 25 )年度排出量
	①	邑久工場	5,871 t CO <sub>2</sub>
	②	本社・本社工場	1,440 t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>

削減目標の達成状況	計画期間：	平成 22 年度 ～ 平成 26 年度 ( 5 箇年度)	
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	( 25 ) 年度削減実績	目標削減率 目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	△ 9.2 %	5.3 % <input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産枚数	原単位当たり排出量		
		基準年度	( 25 ) 年度	目標年度
		0.091 t CO <sub>2</sub> /(万枚)	0.099 t CO <sub>2</sub> /(万枚)	0.086 t CO <sub>2</sub> /(万枚)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 25 年度)	達成率等
指標の状況				

【削減状況の自己評価】

計画に沿って削減しているが、電気事業者の2012年度の実排出係数が増加したため原単位基準及び総排出量は増加した。電気事業者の2008年度の実排出係数と比較すると総排出量は減少したが原単位基準では増加した。生産枚数と関係をもたないフローを使用したため原単位基準は増加した。

**【推進体制】**

省エネ法に基づくエネルギー管理統括者を中心としたエネルギー管理体制を整備

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
(22年実施分) 全社	(22年度実施分) 冷暖房温度の見直しによるエネルギー使用量の削減をした O A機器の節電 無人スペースの消灯及び照明の間引き
(23年実施分) 全社	(23年度実施分) 22年度実施分の継続
(24年実施分) 全社	(24年度実施分) 22年度実施分の継続
呂久工場	高効率照明に一部変更した
(25年度実施分) 全社	(25年度実施分) 22年度実施分の継続
本社	ガス給湯器を一部省エネ製品に入れ替えた
呂久工場	エアコンを一部省エネ製品に入れ替えた
(今後実施予定分) 全社	(今後実施予定分) 設備更新の際に省エネ製品を購入
呂久工場	外気導入による熱気の排出と冷房負荷の削減による省エネ化
全社	エアコンの入れ替え
全社	作業場所を集約し電力削減
全社	無人スペースの消灯の継続

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

- ①冷暖房設備の使用電力の低減のため、クールビズ、ウォームビズ運動に取り組んでいる。
- ②安全衛生委員会においてエコドライブの啓発を実施
- ③過剰照明器具の削減